

平成27年2月24日
東北森林管理局
三陸中部森林管理署

「遊々の森」(産土の森)の協定締結式について

東北森林管理局三陸中部森林管理署(署長 橋爪一彰)と大船渡市立末崎中学校(校長 千葉和仁)は、国有林のフィールドを活用し、生徒たちが「森と海との関わり」についての学習や、植樹、下刈、間伐等の森林整備活動(※1)を行うため、平成15年に「遊々の森(※2)」の協定を締結しております。

このたび、下記のとおり協定を更新し、活動を継続することとなり、協定締結式を行うことといたしましたので、お知らせします。

記

1 協定締結式

日 時：平成27年3月3日(火) 午後2時～

場 所：大船渡市立末崎中学校 校長室(岩手県大船渡市末崎町字平林72-13)

2 協定の期間

平成27年4月1日～平成32年3月31日の5年間(平成15年に締結)

3 参考

(※1) これまでの活動内容

大船渡市立末崎中学校では、平成15年5月に三陸中部森林管理署と「遊々の森」の協定を締結し、「産土の森」と名付けたフィールドで、コナラ等の広葉樹の植栽や下刈、間伐などの林業体験を12年間にわたり行ってきました。

同校では、平成14年から総合的な学習の時間「産土タイム」において、学習のテーマ「海と生きる」を掲げ、1学年は「海と共に」、2学年は「海の恵み」、3学年は「海を守る」をテーマに学習を進めてきました。1、2学年でワカメの養殖作業などを体験した生徒が、3学年での締めくくりに海を育む森の働きを学び、林業体験を通じて「森林と海との関わり」について理解を深めることとしています。

東日本大震災では、ワカメの養殖施設に甚大な被害を受け、船や資材が不足している中でも活動を継続してきました。森林と海とのつながりについて実践的に行われる学習は、森林保全整備活動にとどまらない幅広い視点からの取組となっています。

(※2) 遊々の森とは

国民参加による森づくりの活動として、協定締結により、国有林野内で森林環境教育の推進を目的とした森林教室、自然観察、体験林業等の体験活動を行います。

【問い合わせ先】

東北森林管理局 三陸中部森林管理署
森林技術指導官 工藤
TEL 0192-26-2161